

兵庫県立国際高校創立 20 周年というこの記念すべき時に、生徒会長を務めさせていただけることを嬉しく思います。

まだ歴史の浅い国際高校ではありますが、この 20 年間で築きあげてきた国際高校らしさは素晴らしいものだと思います。

私達生徒会は、学校説明会やオープンハイスクールなどで、普段の学校生活についての説明を担当しています。

中学生は特に国際高校の特色ある授業に関心をもっているように感じます。

私たち在校生もこれらの特色ある授業は確かに国際高校らしさであると思います。

しかし国際高校らしさは、特色ある授業だけなのでしょうか。

私は国際高校らしさの本質は、私 たち生徒一人一人が、「自分らしさ」をしっかりと持っている事だと思います。

この言葉は創立 10 周年記念誌の中で、当時の生徒会長も仰っています。

それぞれが「自分らしさ」を持っている事、

そしてそれぞれをお互い認め合っていること、

これこそが国際高校が 20 年間変わらず国際高校らしさを貫くことができた理由ではないでしょうか。

私は生徒会役員として生徒の皆さんが学校行事や有志の活動に積極的に参加したり、

各クラスで放課後遅くまで残るなどして一生懸命準備している姿を見ることがあります。

その時、一人一人の個性がとても輝いているように感じました。

このように国際高校の校内では、少し周りを見回すだけで、それぞれの「自分らしさ」を持った国際生の姿があります。

この光景が見続けられる限り、この先 30 年、40 年と、国際高校のスクール アイデンティティは変わることはないでしょう。

一方で、「国際」という言葉を冠する学校ならば、

伝統を守ることだけでは不十分だと思うこともあり、これから新しい伝統を作っていくことが、私たちの使命であると思います。

創立 20 周年は新しい一歩を踏み出す大きなきっかけとなると思います。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く現在、困難な問題はたくさんありますが、本校が、輝かしい第一歩を踏み出すきっかけとなるよう、生徒を代表して、生徒会役員一同より一層努力して いきます。

これから 30 年、40 年先も国際高校が発展していくことを願って、私の挨拶とさせていただきます。